

ネットモラル五か条

- ネットの使い方を見直し、適切に使用できるようになりましょう -

1 - 他人を傷つけない



SNS上

誰が発言したかわからない



人が不快に思うようなことを
発言してしまうとたくさんの
見た人が傷付いてしまう

- 嘘の悪口
- 誹謗中傷



2 - 個人情報を守る



SNS上

SNSの発言は世界に広がっている



個人情報知らない人に
知られるかもしれない



- 電話番号
- 住所
- 本名

インターネットを利用した人権侵犯事件の推移



3 - 著作権を守る



SNS上

様々な画像や動画などを投稿できる



人の作ったもの・人の映っているものを許可を得ずに公開すると違法になる場合がある

1000万円以下
の罰金

または

10年以下
の懲役



4 - ICT機器に依存しない (ゲーム、PC、スマホなど)



SNS上

ICT機器はブルーライトなどを発する



人体に悪影響を及ぼす可能性がある



免疫力の低下



寝不足



私たち情報委員は北稜中学校ネットモラル五か条を作りました。

一つ目は、「他人を傷つけない」です。最近ネットによる誹謗中傷が多くなっています。一番の問題が、匿名を使い、誰が言っているのかわからない問題です。絶対にやめましょう。

二つ目は、「個人情報を守る」です。友達の写真を勝手にSNSに投稿してしまったことはありませんか？これはれっきとしたプライバシーの侵害です。写真等の友達の情報を勝手に扱うのはやめましょう。

三つめは、「著作権を守る」です。SNSには自由に画像や動画等が自由に投稿できます。しかし、人の作ったものや人の映ったものを許可を得ずに公開すると違法になる場合があります。例えば、画像や文章の無断使用、歌詞や楽曲などの無断使用があります。

四つ目は、「ICT機器に依存しない」です。ICT機器はゲーム機・PC・スマホなどです。これらのICT機器はブルーライトというものを発しており、免疫力の低下、寝不足などの悪影響を及ぼします。

五つ目は、「情報リテラシーを高め、情報を多角的にとらえる」です。現在、いろんなところから様々な情報を得ることができますが、その中には間違っていたり悪意のある情報がたくさんあります。

なので、それらを見極める力が必要です。

みなさんも、このネットモラル五か条をよく覚え、絶対にこれらを守りましょう。

5 - 情報リテラシーを高め情報を多角的にとらえる



様々な情報を得ることができる

SNS上



間違った情報・悪意のある情報などを見極める力が必要

- 情報の検索の仕方を改める
- 情報源を確かめる
- データの見方を覚える